

くらしの 情報

問い合わせ先

本 庁 天草市役所・市庁舎別館 ☎231111
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所 牛 深 ☎732111・有 明 ☎531111
御所浦 ☎672111・倉 岳 ☎643111
栖 本 ☎663111・新 和 ☎462111
五 和 ☎321111・天 草 ☎421111
河 浦 ☎761111

☎…申し込み先 郵便…郵送先 F…FAX M…メールアドレス H…ホームページ ※申請書などは☎に備え付け。

行政

非常勤職員を 募集します

① 看護師嘱託員

勤務場所 天草中央保健福祉センター。
予定人員 1人程度。
業務内容 乳幼児健康診査や健康相談、予防接種の問い合わせへの対応。
応募資格 看護師または准看護師の免許取得者。
雇用期間 11月1日㊦～平成28年3月31日㊦。
勤務時間 月々金曜日(祝日を除く)のうち週29時間。報酬 月額11万1千円(交通費別途支給)。
試験日程・内容 ●10月21日㊦午後4時～●天草中央保健福祉センター。面接。
申込方法 10月16日㊦までに、履歴書と資格免許状の写しを郵送または持参してください。

郵申 ☎〒863-10043
市内亀場町亀川1886番

② 介護保険要介護認定訪問調査員

勤務場所 本庁・高齢者支援課または牛深支所。
予定人員 1人程度。
業務内容 訪問、聞き取り調査など。
応募資格 看護師、准看護師、介護支援専門員いずれかの資格を持ち、実務経験が3年以上または介護保険認定調査員の実務経験が3年以上あり、普通自動車の運転免許を取得し、基本的なパソコン操作(文書作成や表計算など)ができる人。
雇用期間 研修終了後より平成28年3月31日㊦まで。
研修期間 2カ月以内(雇用期間前に実施予定)。
勤務時間 月々金曜日(祝日を除く)のうち週29時間。報酬 月額13万3,700円(交通費別途支給)。
試験日程・内容 ●10月20日㊦午前9時30分～●本庁

ごみ収集日を変更します

10月12日㊦(体育の日)のごみ収集日を変更します。

対象地区	変更後
燃やせるごみ	
本庁	月曜日に収集予定の地区 10月13日㊦
燃やせないごみ	
志柿町(東瀬戸)、下浦町	10月16日㊦
資源物	
古川、下町、本町、宮地岳町	10月10日㊦
燃やせるごみ	
牛深	月曜日に収集予定の地区 10月13日㊦
燃やせるごみ	
有明	東地区(楠甫、大浦、須子、赤崎、下津江) 10月13日㊦
燃やせるごみ	
新和	A地区(大多尾、宮南、宮地浦、切越、諏訪) 10月13日㊦
燃やせるごみ	
五和	東地区(御領、鬼池) 10月13日㊦

※その他の地区は、「家庭ごみ・資源物出し方カレンダー」でご確認ください。 ☎本庁・環境施設課



※詳細はお尋ねください。
☎本庁・水道局経営管理課

(新館)・第3面談室。面接。
申込方法 10月1日㊦から同15日㊦(必着)までに、履歴書(勤務場所の第1希望と第2希望を記入)と資格免許状と運転免許証の写しを、郵送または持参してください。
郵申 ☎〒863-18631
(住所記載不要) 天草市役所・高齢者支援課

下水道に地下水などを使用しているご家庭にお知らせ

下水道の汚水処理に地下水など、市の水道水以外の水を使用し量水器を設置していないご家庭は、世帯員(家族)の人数によって使用料を算定しています。世帯員の人数に変更があった場合は、届け出をお願いします。

輝く

子どもを 見守る“目”に

さいとうしげあき
齊藤成昭さん
(河浦町河浦・80歳)



天草市老人クラブ連合会河浦支部の支部長。同支部では昨年10月、地元の河浦小学校児童(全児童172人)の下校を見守ろうと、「河浦子ども見守り隊」を結成。学校の休業期間を除く毎週水曜日に、同支部のメンバーが下校路やスクールバスの停留所付近に立ち、児童への声かけなどに取り組んでいる。

齊藤さんが見守りを行う場所は、同校近くの一町田橋付近。周辺に住む子どものほか、近くにある児童館へ向かう子どもたちなど、多くの児童が通る場所だ。3人1組となり持ち回りで行っており、齊藤さんが担当するのは2カ月に1・2回。「見守りが主ですので、声かけは『こんにちは』『用心をしながら帰ってね』など最小限」と齊藤さん。「子どもたちは大きな声で返事をしてくれますし、中には『ありがとう。おじいちゃん』と感謝してくれる子もいるんですよ」と笑顔を見せる。

一方、「子どもが少なくなってきた中で、この活動は地元の子どもたちと顔を合わせることもできる、貴重な機会なんです」と齊藤さん。子どもと高齢者の交流の場として、行くのが楽しみにしているという。

「先日、大阪で子どもが犠牲になる事件が起きたばかり。こういう事件が地元で起きないとも限らない。見守りはもちろんのこと、私たちが活動を続けることで犯罪の予防・抑止になればと思っています」。齊藤さんたちの地域を見守る「目」としての活動は、これからも続く。